

講演名	日程	時間	会場	テーマ	演題番号	氏名(敬称略)	オンデマンド配信可否	Live配信可否	UMIN演題名	所属
特別講演1	4日(金)	11:05-11:50	A会場	成熟T細胞腫瘍の免疫病態、分子病態を斬る!	SP1	石田 高司	可	可	成熟T細胞腫瘍の免疫病態、分子病態を斬る!	名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞免疫学
特別講演2	4日(金)	13:25-14:10	A会場	頭頸部がんのユニークな微小免疫環境	SP2	山崎 小百合	可	可	頭頸部がんのユニークな微小免疫環境	名古屋市立大学大学院医学研究科 免疫学
特別講演3	5日(土)	11:25-12:25	A会場	制御性T細胞と癌免疫	SP3	坂口 志文	可	可	制御性T細胞と癌免疫	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学
教育講演1	4日(金)	8:45-9:45	B会場	縫合法・傷治療の基礎から応用まで	EL1-1	土肥 輝之	可	可	目立たない傷あとを目指した縫合法の理論と実際	日本医科大学 形成外科/形成再建再生医学分野
					EL1-2	渋谷 陽一郎	不可	可	切除後欠損の閉創/再建の戦略について	筑波大学 形成外科
教育講演2	4日(金)	9:55-10:55	B会場	T細胞リンパ腫の骨髄移植	EL2-1	楠本 茂	可	可	T細胞リンパ腫に対する造血幹細胞移植療法:到達点と今後の展望	愛知県がんセンター 血液・細胞療法部
					EL2-2	濱田 利久	可	可	皮膚T細胞リンパ腫治療における造血幹細胞移植の位置づけ	国際医療福祉大学成田病院 皮膚科
教育講演3	4日(金)	11:05-12:05	B会場	紫外線と皮膚癌	EL3-1	国定 充	可	可	DNA損傷と皮膚がん	兵庫県立はりま姫路総合医療センター
					EL3-2	辻 学	可	可	芳香族炭化水素受容体と皮膚癌	九州大学 皮膚科、九州大学病院 油症ダイオキシシン研究診療センター
教育講演4	4日(金)	14:50-15:50	B会場	皮膚がん診療の新しいバイオマーカー～腫瘍微小環境と三次リンパ様構造～	EL4-1	木庭 幸子	不可	可	皮膚がん診療の新しいバイオマーカー～メラノーマにおけるリキッドバイオプシーの有用性～	信州大学 皮膚科
					EL4-2	中村 元樹	可	可	皮膚がん診療の新しいバイオマーカー～腫瘍微小環境と三次リンパ様構造～	名古屋市立大学 皮膚科
教育講演5	4日(金)	16:00-17:00	B会場	ゲノム検査で何が分かるのか	EL5-1	衣斐 寛倫	可	可	がんゲノムから見えてくること	愛知県がんセンター ゲノム医療センター、愛知県がんセンター がん標的治療トランスレーショナルリサーチ分野
					EL5-2	猪爪 隆史	可	可	ゲノム検査に基づいた皮膚がん治療	千葉大学 皮膚科
教育講演6	5日(土)	13:35-14:35	D会場	ダーモスコピー基礎編	EL6-1	坂井 浩志	可	可	色素性腫瘍のダーモスコピー:色や形の見え方と原理	大阪大学 皮膚科
					EL6-2	皆川 茜	可	可	色素性腫瘍のダーモスコピー:診断アルゴリズムと臨床でのコツ	信州大学 皮膚科
教育講演7	5日(土)	14:45-15:45	D会場	ダーモスコピー発展編	EL7-1	村田 洋三	可	可	小児爪甲色素線条のダーモスコピーから学んだこと	神戸市立医療センター中央市民病院
					EL7-2	宇原 久	可	可	血管所見	札幌医科大学 皮膚科
シンポジウム1	4日(金)	8:45-10:45	C会場	皮膚悪性腫瘍まるごとアップデート	SY1-1	飯藤 啓介	可	可	概念が再定義された皮膚腫瘍について	公益財団法人がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部 地方独立行政法人東京都立病院機構がん・感染症センター都立駒込病院 病理科 株式会社アイル板橋中央臨床検査研究所 病理診断部 東京医科大学 人体病理学分野 静岡県立静岡がんセンター 病理診断科 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 病理診断科 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床検査科・病理診断科 兵庫県立がんセンター 皮膚科 名古屋市立大学みどり市民病院 放射線科
					SY1-2	河合 辰哉	可	可	放射線画像診断技術 up to date	
					SY1-3	加藤 裕史	可	可	乳房外Paget病アップデート	
					SY1-4	高井 利浩	可	可	有棘細胞癌	
					SY1-5	飯野 志郎	可	可	基底細胞癌の切除マージンと関連するリスク因子について	
					SY1-6	伊東 孝通	可	可	血管肉腫まるごとアップデート	
シンポジウム2	4日(金)	15:00-17:00	A会場	臨床・ダーモスコピー・病理の三位一体セミナー	SY2-1	結城 明彦	可	可	胸部に生じた黒色斑	新潟大学医学部総合病院 皮膚科
					SY2-2	上原 治朗	可	可	鼻根部に生じた嚢胞性病変	がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科
					SY2-3	甚目 航太	可	可	白人男性の耳介に生じた小結節	豊川市民病院 皮膚科
					SY2-4	黒尾 優太	可	可	右頬部に生じた褐色斑	愛媛大学 皮膚科
					SY2-5	木村 俊寛	可	可	右足底の黒色斑	熊本大学 皮膚病態治療再建学講座
					SY2-6	山川 浩平	可	可	側頭部から頭頂部にかけて生じた黒色斑	横浜国立大学 皮膚科
シンポジウム3	5日(土)	9:00-10:00	C会場	先端技術が切り開く未来のがん研究	SY3-1	福島 聡	可	可	iPS細胞由来マクロファージによるがん免疫療法	熊本大学 皮膚科
					SY3-2	辻川 敬裕	可	可	免疫組織化学を活用したがん微小環境の時空間的解析	京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、Oregon Health & Science University Cell Developmental & Cancer
シンポジウム4	5日(土)	10:10-11:10	C会場	遺伝学的モザイクから考えるクローン性増殖疾患の皮膚科	SY4	久保 亮治	可	可	遺伝学的モザイクから考えるクローン性増殖疾患の皮膚科学	神戸大学 皮膚科
シンポジウム5	5日(土)	13:45-15:45	A会場	最良の再建を目指して	SY5-1	吉龍 澄子	可	可	眼瞼・眼窩皮膚悪性腫瘍における腫瘍完全切除と機能と整容を兼ね備えた最良の再建を目指して	国立病院機構 大阪医療センター 形成外科
					SY5-2	野村 正	可	可	最良の外鼻再建を目指す必要条件とは	神戸大学 形成外科
					SY5-3	古川 洋志	不可	可	皮膚悪性腫瘍患者へ最良の再建を行うために:基本の整理	愛知医科大学 形成外科
					SY5-4	田中 顕太郎	可	可	遊離組織移植を用いた皮膚悪性腫瘍切除後の再建	東京医科歯科大学 再建形成外科
シンポジウム6	5日(土)	13:45-14:35	E会場	ポストコロナの留学事情	SY6-1	加藤 裕史	可	可	オンライン化がもたらした新たな留学の形	名古屋市立大学 皮膚科
					SY6-2	中村 貴之	不可	可	コロナ禍におけるサンディエゴでの留学経験について	筑波大学 皮膚科
ワークショップ1	5日(土)	9:00-10:00	B会場	メラノーマの外科治療update	WS1-1	鹿兒山 浩	可	可	原発巣の外科治療	富山大学 皮膚科
					WS1-2	前田 拓	可	可	皮膚悪性腫瘍のリンパ流を考慮したリンパ節郭清術の範囲と手技の実際	北海道大学 形成外科
					WS1-3	緒方 大	可	可	メラノーマ遠隔転移例に対する外科治療の適応について	国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

ワークショップ2	5日(土)	10:05-11:25	B会場	皮膚悪性腫瘍の病理診断	WS2-1	小川 浩平	可	可	メラノーマの病理診断	奈良県立医科大学 皮膚科
					WS2-2	高井 利浩	可	可	有棘細胞癌	兵庫県立がんセンター 皮膚科
					WS2-3	村田 洋三	可	可	乳房外Paget病における「臨床像と病理組織像の相関」	神戸市立医療センター中央市民病院
					WS2-4	光井 康博	可	可	血管肉腫の病理診断	奈良県総合医療センター 皮膚科
ワークショップ3	5日(土)	13:35-14:35	B会場	治験・社会実装のためのワークショップ	WS3-1	宮下 梓	可	可	アカデミアにおける研究開発～出口戦略を意識した進め方～	熊本大学 皮膚科
					WS3-2	船越 建	不可	可	医師主導治験の計画と実施(研究者目録で)	慶應義塾大学 皮膚科
ワークショップ4	5日(土)	14:45-15:45	B会場	放射線治療の実際	WS4-1	村上 直也	可	可	皮膚がん診療における放射線治療の役割	順天堂大学順天堂医院 放射線科
					WS4-2	勝海 洸司	可	可	上顎洞再発と肺転移に対して定位放射線治療を行った眼瞼脂腺癌の1例	新潟県立がんセンター 皮膚科
					WS4-3	爲政 大幾	可	可	メラノーマに放射線治療は有効か?	大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、医誠会病院 皮膚科
					WS4-4	鶴田 成二	可	可	化学放射線療法により完全奏効が得られた鼻部原発有棘細胞癌の1例	国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科
					WS4-5	勝又 文徳	可	可	顔面への放射線治療に伴う皮膚粘膜障害の対応に苦慮した1例	自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科
CPC	5日(土)	13:35-15:05	C会場	CPC:リンフォーマ	CPC-1	福井 伶奈	可	可	放射線治療が奏功し稀な臨床像を呈した外陰部皮膚 T 細胞性リンパ腫の1例	自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
					CPC-2	乗松 雄大	可	可	CD20-positive CD4/CD8 double-positive T-cell lymphoma の1例	国際医療福祉大学 皮膚科
					CPC-3	藤本 萌	可	可	Primary cutaneous marginal zone lymphoma (PCMZL)を疑った再発をきたす皮下腫瘍の1例	大阪大学 皮膚科
					CPC-4	米倉 健太郎	可	可	筋肉内腫瘍を呈した菌状肉腫	今村総合病院 皮膚科
ハンズオンセミナー1	4日(金)	8:45-10:45	G会場	皮弁作成演習	HS1-1	高木 信介			顔面皮膚悪性腫瘍に対する皮弁再建術の基礎	昭和大学 形成外科
					HS1-2	林 礼人			顔面皮膚悪性腫瘍に対する皮弁再建術の実践	横浜市立大学 形成外科
ハンズオンセミナー2	4日(金)	15:00-17:00	C会場	皮膚癌インフォームドコンセントガイド	HS2-1	浅井 純		可	皮膚癌診療とインフォームドコンセント	京都府立医科大学 皮膚科
					HS2-2	青木 恵美		可	手術とインフォームドコンセント	鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科
					HS2-3	上田 英一郎		可	医療安全とインフォームドコンセント ～説明から対話へ～	大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部
					HS2-4	坂本 雅樹		可	緩和ケアとインフォームドコンセント	名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科、消化器外科
ハンズオンセミナー3	5日(土)	9:10-11:10	G会場	がん薬物療法のケーススタディー	HS3-1	緒方 大			irAE後の薬物療法再開について考える	国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科
					HS3-2	伊東 孝通			がん薬物療法のケーススタディーこんなときどうする? irAE	九州大学 皮膚科
					HS3-3	岩間 信太郎			免疫チェックポイント阻害薬による内分泌有害事象の高リスク因子と発症機序	名古屋大学 糖尿病・内分泌内科
					HS3-4	塚本 博丈			高齢マウスモデルの知見からirAE病態の理解を目指して	京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター がん免疫治療臨床免疫学部門
スポンサードシンポジウム1	4日(金)	8:45-10:45	A会場	メラノーマ診療におけるトータルケア—手術・アジュバント療法から進行期治療・irAEマネジメントまで—	SSY1-1	松下 茂人		可	本邦のメラノーマ診療における手術療法の位置づけと将来展望	鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科
					SSY1-2	並川 健二郎			エビデンスから考えるメラノーマの薬物療法と治療戦略	国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科
					SSY1-3	武田 孝一			ケースから学ぶ実践的 irAE マネジメント	がん研究会 有明病院 感染症科/腫瘍リウマチ膠原病科
スポンサードハンズオンセミナー1	4日(金)	8:45-10:45	F会場	超高周波超音波で診る皮膚科の新しい	SHS1-1	加納 慎二			名古屋市立大学 皮膚科	
スポンサードレクチャー	4日(金)	11:05-12:05	C会場	自家培養表皮の可能性～再生医療の	SL1	畠 賢一郎		可	産業化を通じた再生医療の発展をめざして 白斑治療に自家培養表皮は有効か!?	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング 東京医科大学 皮膚科
ランチョンセミナー1	4日(金)	12:15-13:15	A会場	メラノーマ治療の課題と目指すべきゴール	LS1-1	藤澤 康弘		可	進化するメラノーマの術後補助療法 進行期メラノーマの課題と治療ゴールとは—エビデンスが示す治療戦略—	愛媛大学 皮膚科
					LS1-2	吉野 公二			皮膚悪性腫瘍領域における研究の現状と課題—わたしたちの取り組み—	がん研究会 有明病院 皮膚腫瘍科
ランチョンセミナー2	4日(金)	12:10-13:20	B会場	本邦における皮膚悪性腫瘍診療の現在地—研究から臨床迄まで—	LS2-1	木庭 幸子		可	リアルワールドデータを踏まえた BRAF 陽性メラノーマの治療戦略	信州大学 皮膚科
					LS2-2	並川 健二郎			症例報告1	国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科
					症例報告2	吉川 周佐			静岡県立静岡がんセンター 皮膚科	
ランチョンセミナー3	4日(金)	12:15-13:15	C会場	メラノーマ術後アジュバント療法のエビデンスと実践	LS3-1	高橋 聡		可	メラノーマ術後補助療法の実践—クリニカルクエストと意思決定術—	国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科
					LS3-2	竹之内 辰也			新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科	
ランチョンセミナー4	4日(金)	12:15-13:15	D会場	皮膚科におけるATL診療とハイヤスタ錠の使用経験	LS4	米倉 健太郎			皮膚科におけるATL診療とハイヤスタ錠の使用経験	今村総合病院 皮膚科
スポンサードハンズオンセミナー2	4日(金)	15:00-17:00	G会場	縫合技術の具髄を知る—実践ですぐに使える縫合テクニックを学ぶ—	SHS2-1	安倍 吉郎				徳島大学 形成外科
					SHS2-2	前田 拓				北海道大学 形成外科
					SHS2-3	清水 史明				大分大学 形成外科
					SHS2-4	山尾 健				旭川医科大学 形成外科
イブニングセミナー1	4日(金)	17:10-18:10	A会場	The role of Ultraviolet dermoscopy in the diagnosis and management of skin cancer and other	ES1	Cristian Navarrete-Dechent		可	The role of Ultraviolet dermoscopy in the diagnosis and management of skin cancer and other diseases	Melanoma and Skin Cancer Unit, Department of Dermatology, Escuela de Medicina, Pontificia Universidad Catolica de Chile, Santiago, Chile.
イブニングセミナー2	4日(金)	17:10-18:10	B会場	再発・難治性 皮膚T細胞リンパ腫の治療戦略	ES2-1	藤村 卓		可	再発性/難治性 CTCL の治療におけるデニロイキン・ジフチトクスの役割	東北大学 皮膚科
					ES2-2	城 達郎			長崎原爆病院 血液内科	
イブニングセミナー3	4日(金)	17:10-18:10	C会場	リンパ腫の治療	ES3-1	濱田 利久		可	皮膚リンパ腫診療の進展	国際医療福祉大学 皮膚科
					ES3-2	島内 隆寿			ベキサロテンと光線治療の併用 その効果と安全性について	浜松医科大学 皮膚科

スポンサードシンポジウム 2	5日(土)	9:00- 11:00	A会場	リンフォーマ～基礎 から臨床まで～	SSY2-1	渡辺 玲	可	皮膚T細胞リンパ腫における悪性T細胞と良 性T細胞	大阪大学 アレルギー免疫疾患統合医療学
					SSY2-2	藤井 一恭		本邦の皮膚リンパ腫の疫学	鹿児島大学 皮膚科
					SSY2-3	森脇 真一		皮膚リンパ腫治療における光線の功罪	大阪医科大学 皮膚科
					SSY2-4	宮垣 朝光		皮膚 T 細胞リンパ腫治療とベキサロテン	聖マリアンナ医科大学 皮膚科
スポンサードハンズオン セミナー3	5日(土)	9:10- 11:10	F会場	新時代の針付き縫合 糸を用いた皮膚縫合 と局所皮弁の実際	SHS3-1	橋川 和信			名古屋大学 形成外科
					SHS3-2	黒川 正人			熊本赤十字病院 形成外科
					SHS3-3	田中 克己			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 形成再建外科学分野
ランチョンセミナー5	5日(土)	12:30- 13:30	A会場	メルケル細胞癌治療 2023 ～これまでの 臨床経験から最適な	LS5-1	加藤 潤史	可	海外のガイドラインからみえてくるメルケル 細胞癌のマネージメント	札幌医科大学 皮膚科
					LS5-2	永瀬 浩太郎		メルケル細胞癌診療のこれまでとこれから	佐賀県医療センター好生館 皮膚科
ランチョンセミナー6	5日(土)	12:30- 13:30	B会場	進行期BRAF陽性メ ラノーマの治療を再 考する	LS6-1	内 博史	可	進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療戦略 —実臨床での BRAF 阻害薬+MEK 阻害薬 の使用経験も含めて—	自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科
					LS6-2	前川 武雄		エビデンスから考える進行期 BRAF 陽性メ ラノーマの最適治療とは	九州がんセンター 皮膚腫瘍科
ランチョンセミナー7	5日(土)	12:30- 13:30	C会場	神経線維腫症1型 (NF1/レックリングハウ ゼン病)における神 経線維腫の診療Up- to-date	LS7	延山 嘉真	可	神経線維腫症1型(NF1/レックリングハウゼ ン病)における神経線維腫の診療Up-to- date	東京慈恵会医科大学 皮膚科

*1 本大会は、A～C会場のみオンライン聴講が可能です。

*2 会期後のオンデマンド配信の視聴による単位取得はできません。